

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野西北小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	6年生に関しては、国語・算数ともにR5年度の市学習状況調査が、R4年度の全国学力・学習状況調査の「知識・技能」の部分において正答している割合が上昇している児童を70%以上にする。 3・4・5年生の算数に関しては市学習状況調査「知識・技能」を問う問題で85%以上にする。国語に関しては、市学習状況調査で市の平均よりも上られるようにする。
思考・判断・表現	6年生に関しては、国語・算数ともにR5年度の市学習状況調査が、R5年度の全国学力・学習状況調査の「思考・判断」の部分において正答している割合が上昇している児童を70%以上にする。 3・4・5年生の算数に関しては学期末テストで「思考・判断」を問う問題を80%以上にする。国語に関しては、市学習状況調査で市の平均よりも上られるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度さいたま市学習状況調査の質問事項において、国語・算数が好きであるかの項目で肯定的な回答の割合を90%以上にする。

次年度に向けて
(3月)

<小6・中3>(4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-3pt、算数-5ptであった。国語では、情報の整理の仕方や漢字や文章の種類とその特徴の理解を正しく答える問題に対して、誤答する児童が多かった。算数では、乗法計算、図形の定義・性質、割合の問題に対して、誤答する児童が多かった。また、各設問においても無回答児童がいることが課題である。
思考・判断・表現	国語では、「話す聞く」力を問う設問や「文章を読んで理解したことに基いて自分の考えをまとめることができる」の設問において誤答する児童が多かった。算数では「図形」、「示された日常生活の場面を解釈し設問に答える」の設問において誤答する児童が多く見られた。多角形の面積を求める式の言葉や数を用いて解答する問題では公式の意味を理解していないことが考えられる。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査において、国語・算数が好きであるかの質問項目で、肯定的な回答の割合は68%で目標値に達しなかった。様々な場面で児童自身が「考える」ことの楽しさを知り、課題解決に主体的になるよう授業改善に取り組む。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	無回答児童が多くいることが課題として考えられるため、国語では、漢字や文章の構成、算数では、図形等の公式や性質を学ぶ機会を増やすようにする。
思考・判断・表現	学校課題研修と連携し、児童一人ひとりが自分の考えをもち、文章としてまとめる力がつくよう、授業改善を行っていく。
主体的に学習に取り組む態度	児童一人ひとりが、学ぶことの楽しさを引き出す授業づくりをしていく。導入、発問の工夫、考えを共有する時間の確保を考えていく。

中間評価(9月)
目標・策の見直し